

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成24年2月23日 (2012.2.23)

【公表番号】特表2008-505797(P2008-505797A)

【公表日】平成20年2月28日 (2008.2.28)

【年通号数】公開・登録公報2008-008

【出願番号】特願2007-519905(P2007-519905)

【国際特許分類】

B 6 0 G 17/017 (2006.01)

B 6 2 K 5/00 (2006.01)

B 6 0 G 3/20 (2006.01)

B 6 0 G 7/04 (2006.01)

B 6 0 G 17/016 (2006.01)

B 6 0 G 21/05 (2006.01)

B 6 0 R 5/04 (2006.01)

【F I】

B 6 0 G 17/017

B 6 2 K 5/00

B 6 0 G 3/20

B 6 0 G 7/04

B 6 0 G 17/016

B 6 0 G 21/05

B 6 0 R 5/04 Z

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年1月4日 (2012.1.4)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 6】

有利なことに、平衡化手段は、車両の平衡を確保しつつも、理想的な傾斜値とは対向する傾斜値であって、好ましくは、より小さいものである傾斜値に従って車両の傾斜を制御することに適合している。理想的な傾斜というのは、ここでは、平衡化手段によって車両又はその傾斜可能部分の重心に加わる複数の力の合力が車両の支持の多角形の長手方向対称の軸心を通過するようになる範囲の角度として定義づけされる。